

『図解入門 よくわかる最新金属疲労の基本と仕組み』

<正誤表>

【訂正】

本文 26、27、32、36、38、39、41、42 ページ脚注に記載の「提供：宇佐美三郎」は、それぞれ以下のようになります。ここにお詫びと共に訂正致します。

- 26 ページ 写真：アロハ航空機の破壊事故の原因究明調査
- 27 ページ 写真：車輪の疲労破壊によるドイツ新幹線（ICE）の脱線事故
- 41 ページ 写真：建設現場で発生した杭打ち機の倒壊事故
- 42 ページ 写真：杭打ち機の破壊事故時に観察されたボルトの疲労破壊例

【正】 提供：「失敗知識データベース」 畑村創造工学研究所

- 32 ページ イラスト：ロシア船"ナホトカ号"の破壊シミュレーション

【正】 出典：旧運輸省事故調査委員会報告書

- 36 ページ 図：ポイント・プレザント橋で用いられたアイバー

【正】 出典等の記載は不要

- 38 ページ 写真：横風を受けてねじられるタコマナローズ橋

- 39 ページ 写真：崩落の瞬間のタコマナローズ橋

【正】 出典：Smith, Doug, A Case Study and Analysis of the Tacoma Narrows Bridge Failure, 99.497 Engineering Project, (1974).

-
- 85 ページ 本文 4行目

【誤】 応力勾配が急俊になります。

【正】 応力勾配が急峻になります。

<本書サポートサイト>

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/2972.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>